



ここ数年で一番きれいだった2016年のサツキ園（今年はどうでしょう?!）

県民の森 だより 6 2018 月号

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

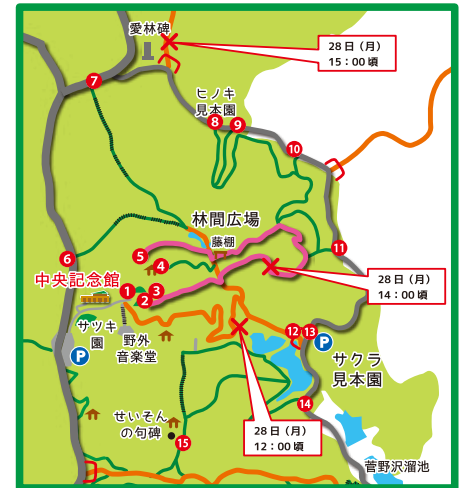
沖縄の梅雨入り報道も5月8日に発表され、宮城でもまもなく梅雨入りが発表されようとしています。今、動植物にとって一番活発に活動する時期で、園内の緑色は更に深みを増し、落ち着いた森の色合いを漂わせております。日々強くなる日差しを、深い緑に遮られた快適な遊歩道の散策をお薦めいたします。(所長：蜂谷仁)

ツキノワグマ目撃情報

体長1mほどの子グマの目撃情報が相次いでおります。5月28日(月)には立て続けに3件の目撃情報があり、安全確保のため、アスレチックと周辺遊歩道を閉鎖しております(5月28日現在・①～⑮の場所に看板を立てております)。ご不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

- 5月1日 青麻神社方面車道(仙台東警察署より)
- 5月3日 モミジの道遊歩道中腹辺り(11:00頃)
- 5月16日 愛林碑の先5mほどの遊歩道(16:00頃)
- 5月17日 菅野沢溜池近く(12:00頃)
- 5月20日 アカマツの道駐車場側から入って2～300m(15:00頃)
- 5月28日 菅野沢溜池近く(12:00頃)・アスレチック・ネットスネーク付近(14:00頃)・愛林碑の先5mほどの遊歩道(15:00頃)

5月28日(月)のクマ目撃場所(×印)



今月のけんみんのもり写真館 スペース広め スタッフがみつけたしぜんのはとコマ バージョン



ヤマウルシ(科)
山漆

名前は山に生える「うるし(潤液)」または「ぬるし(塗汁)」から転訛したようです。樹液(ウルシオール)に触れるとかぶれますので注意して下さい。かぶれは春の新芽が出るころ激しく、秋の紅葉の頃は少ない。(駒野)



マルバタケブキ(キク科)
丸葉岳路

名前は葉が丸く、フキの葉に似ている。フキに比べ高い山岳に自生するので岳路(だけぶき)です。山吹色の頭花は直径8センチと大きいです。早春の散策路にいち早く丸い葉を茂らせませす。(駒野)



ニワトコ(レンブクソウ科)
庭常 接骨木

名前は「ミヤツコギ(造木)」から転訛したものといわれています。別名接骨木は、黒焼あるいは枝を煮詰めたものを骨折の患部に湿布して治療したことによります。莖の髄(すい)は顕微鏡観察のとき、試料を挟んで薄く切るために使います。果実は赤くなってきました。(駒野)



ニワセキショウ(庭石萱)

名前は葉がセキショウに似ていることによります。北アメリカ原産の多年草で、明治中期に観賞用として渡来し、各地に広がりました。中央記念館の芝生内に直径1cmぐらいの美しい花を咲かせていますが、芝生の高さと同じぐらいのため見過されているようです。(駒野)



ウバタムシ(タマムシ科)
体長24～40mm

アカマツの道を巡視中、ブーンと大きな羽音を立てながら、目の前に現れました。美しい玉虫色のタマムシと違って、姥玉虫の名の通りしわっぽく色も地味ですが、大きくて存在感のある昆虫です。幼虫はマツ類の枯れ木を食べて成虫になります。(入岡)



ヒトクチタケ(サルノコシカケ科)

枯れてから二年目のマツの木に発生すると言われる、直径2～5cmほどのキノコです。上面には栗まんじゅうのような光沢が見られ、成長とともに下面に一つ穴を開け(一口茸の名前の由来はこのことから)、干魚に似たにおいを出して、集まった昆虫に孢子を運ぶ役割をさせています。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「6月・7月のイベント情報」をご覧ください